

議事録 （議事要旨）		開催日	令和元年10月28日(月)		担当課	水道局業務課	
		開催場所	廿日市市役所 政策審議室				
会議名	第1回 廿日市市上下水道事業経営審議会						
参加者	審議会委員	全委員出席（9名/9名）					
	事務局 （水道局）	川本水道局長 （下水道担当部長）	泉次長	西原工務課長	平松補佐	山根補佐	入江専門員
	事務局等 （下水道課等）	川岡次長	玉貞施設課長	西村経営課長	中田補佐	齋藤補佐	井清係長
		寄井主任	トーマツ	トーマツ	—	—	—
議事内容	議事1：廿日市市の水道事業 ～水道事業の概要～（資料3） 議事2：廿日市市下水道事業の概要 ～下水道事業の取組みについて～（資料4）						
会議次第	1 開会 2 副市長あいさつ 3 廿日市市上下水道事業経営審議会について（説明） 4 審議会委員紹介 5 会長・副会長の選任 6 会長・副会長あいさつ 7 議事 8 まとめ 9 事務連絡 10 閉会						
配布資料	資料1：廿日市市上下水道事業経営審議会について 資料2：廿日市市上下水道事業経営審議会設置要綱 資料3：廿日市市の水道事業 ～水道事業の概要～ 資料4：廿日市市下水道事業の概要 ～下水道事業の取組みについて～						

発言者	内容
	(15:30) ***** (開会) *****
(副市長)	副市長あいさつ
(水道局長)	廿日市市上下水道事業経営審議会について（説明）
(委員・事務局)	自己紹介（審議会委員・事務局職員）
	会長・副会長選任
(会長・副会長)	会長・副会長あいさつ

発言者	内 容
(会 長)	<p>(議事進行)</p> <p>事務局から水道事業と下水道事業の概要説明をお願いします。その後、委員からの質問をお願いします。</p>
	<p style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">水道事業について (資料3) 説明 (パワーポイント併用)</p>
(委 員)	<p>自己水と井戸水の状況、管路に石綿管は存在するのか、また、廿日市市の自己水について</p>
(事務局)	<p>自己水の多くは井戸であり、一部は表流水、伏流水から取水しているところもある。</p> <p>石綿管については、ほぼ更新はしているが、ごく一部残っており、今後、他の道路工事等に合わせて撤去、更新をする方針である。</p>
(会 長)	<p>給水人口はどのように算出しているのか</p>
(事務局)	<p>給水人口の対象は、水道の供給を受けている人口で、戸別の1戸で何人が水道を使っているか把握はできないことから、給水区域内の住民基本台帳の人口から、井戸を使用している人口を引いて算出している。</p>
(委 員)	<p>給水区域について</p>
(事務局)	<p>合併前は、各市町村で設定しており、現在もそれがベースになっている。</p> <p>廿日市地域・大野地域の沿岸部は、一部を除き給水区域となっており、水道ビジョンの10ページの青で囲っている区域である。</p> <p>佐伯地域は、4つの地域で、簡易水道事業に分かれていたが、合併後、上水道事業に切り替えた。吉和、宮島地域は、単体の簡易水道事業である。次回、図面でお示しする。</p>
(会 長)	<p>水道事業の普及率について</p>
(事務局)	<p>平成30年の決算値で、廿日市・佐伯・大野地域の上水道事業の給水普及率が95.7%で、この給水区域内で95.7%が水道を使用されている。</p>
(委 員)	<p>8ページの収益的収支について</p>
(会 長)	<p>損益計算書について、次のページの資本的収支の資本的支出は、どこまでが設備のことで、修繕費関係のものも入っているのか。また、資産を設置するとかは資本的支出で、現状回復等は収益的支出の区分の基準となるのか。</p>
(事務局)	<p>資本的支出は、新たな設備を設置するもの、施設の更新、企業債の元金返済、施設の設置に係る人件費などがある。</p> <p>修繕費は損益計算書の収益的支出としている。</p> <p>資産に対して、更新に係るものは資本的支出として固定資産に計上し、減価償却していく。</p>

(委員)	税法上の基準で行っているのか。
(事務局)	<p>水道管の破裂等の修繕は、収益的収支になる。改良工事・布設替え工事は計画的に行うが、資本的支出になる。資産として計上していくか、どれだけ原形から変えていくかで、収益的な支出か資本的な支出かと分かれている。</p> <p>資産の評価が替わるものを資本的支出で経理している。</p>
(委員)	13ページの法定耐用年数について、税法の法定耐用年数としているのか。
(事務局)	地方公営企業法で定めている法定耐用年数としている。
(委員)	以前にある都市の水道管がかなり老朽化し、更新しなくてはいけない状況になっていたが、予算がないので更新できないといったニュースを見たが、廿日市市はどのような状況か。
(事務局)	更新の必要性は認識している。計画的に更新をしている状況である。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">下水道事業について (資料4) 説明 (パワーポイント併用)</div>	
(委員)	下水道で、2040年度に普及率100%にしたいという目標であるが、佐伯地域では、高齢者の一人住まいや、家も集中しておらず、離れた所に住んでいる方がいる。どのように対処するのか。
(事務局)	<p>廿日市市全域で、今まで整備してきた下水道に加え、下水道区域以外の合併処理浄化槽も含めて、汚水処理率を100%にしていくという考えである。</p> <p>高齢者の支援としては、補助金といったようなことは、先で検討したいと考えている。</p> <p>現在、合併処理浄化槽を整備される場合、例えば汲み取り便所の単独処理浄化槽から、合併処理浄化槽に切り替える場合は、市の補助金の対象になるので、それを活用していただきたい。</p>
(会長)	それでも結構、費用が高くかかると言われる方もたくさんいる中、市が整備を促進する理由は。
(事務局)	水質環境のためには、できるだけ変更した方が良いが、水環境のことを含めた整理を第2回以降で行う。
(会長)	第2回では、水道事業も、水環境の観点から、どのように改革していくか全国的に水道ビジョンが作られており、検証・点検で、どのような優先順位で進めていくか、確認をしていただくことになる。
(委員)	<p>下水道の役割で、生活環境・浸水・水質保全がある。</p> <p>昔は富栄養化があったが、現在は、貧栄養化であるとも聞かすが、水質改善をさらに進める必</p>

	<p>要があるのか。</p> <p>また、これまで整備した区域で、1人あたりどの程度の投資・負担になるのかを、示してもらいたい。</p>
(会 長)	<p>水質環境について、汚水整備が進んでいくことによって、海水の汚染濃度が改善されているような資料が事務局で提示できるか。</p>
(事務局)	<p>海域、河川の定点観測になるが、環境部局が作成した環境白書を、次回提示する。</p> <p>投資・負担についても、次回提示する。</p>
(会 長)	<p>本日は、事業の概要説明という内容で、2回目以降は、いただいたご意見を踏まえながら下水道をどう進めていくのか、水道の方は、ビジョンの検証を再確認をするという、少し具体的な項目で議論いただく。</p>